

射法三部書

一

内閣文庫	
番號	和 17239
冊數	10 ( 1 )
函號	154 219

219

内閣文庫		
五函	七三九	和書
一五架	〇冊	類

154-219

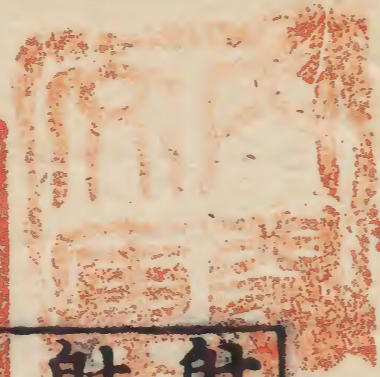




射法一統序

淺草寺藏

射者兵器長也法千三才矣孔子曰射者有似乎君子失諸正鵠反求諸其身志道之士不可不學也振威於千里之外布治於四海之表是皆良弓之德也中華起于易繫辭矣本朝始於天照太神天鹿子弓天羽矢本邦之射藝不取異朝矣雖然其術其法俱廢繁多也





知正說者幾希而邪說太甚予憂之求  
師於四方多年也私淑諸人與有聞焉  
欲弘師說顯今世且又偏僻之士雖有  
欲學斯道者無師矣玩索斯書則不俟  
師而有得焉非術子術鏤師傳于世云  
爾  
貞享第四龍集丁卯仲冬日淺野正親  
自序

射法一統

凡例

- 一 弓矢之名稱人多誤矣模圖作釋刪異說添正說
- 一 弓道之全備者射術射禮造成之法一而不淺知之近時如斯之射者鮮矣斯書迄造弓之器物悉皆作圖載之
- 一 弓道所用之器財盡載之注之



一 的法逐上有圖說

一 射法之條目七十三個舉之各條下有

釋文

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

射法一統惣目錄

卷之一

射場起原

的場圖說

同割札惣樣

同八幡柳飾樣

同記詞之法

陰陽之的之事

的之裏書文字之說

并圖  
同丁法

并圖

并冠樣

并圖

并冠樣

并冠樣

并圖

并圖

并圖



諸的之傳

月次之的

草鹿之圖

三々九之圖

丸物之圖

金之的之事

同飾樣

并圖

并寸法

并寸法

并射樣諸禮

并射樣諸禮

并圖

卷之二

弓矢名所

正誤并圖

○ 古來名所之圖

同見聞之名羽圖

陰陽弓之事

絃名處之夏

鹿之弓所

猪之鹿所

的勝諸說

勸進的起原

射手的勝江行心得

并圖

并圖

并圖

并圖



的見物人心得  
御進元心得

的始次第

矢代振様

間之勝負之夏

躰配之事

乙矢振様

弓置兵庫付之次第

并圖

并圖

并圖

并圖

○卷之三

多月數音依テ知ル夏

中外弓掛様

矢代勝負之事

逆羽打様

矢捌之夏

獨弓二人弓躰配之事

弓矢在時之夏

箭矢在時之事

絃矢在時之夏

并圖

并圖

并或問

并圖

并圖

并圖



○卷之四

絃指様

并圖

同水子様

并圖

絃仕掛様

并圖

中関仕付様

并圖

音金入様

并圖

芭長定様

并圖

天崩棟様

并圖

弓持入様

并圖

弓強弱之圖

并註

遠路弓持様

弓包様

并圖

離弓付様

并圖

矢作三言名替事

并圖

五色之矢之夏

○卷之五

弓始之事

同神前飾様

并圖



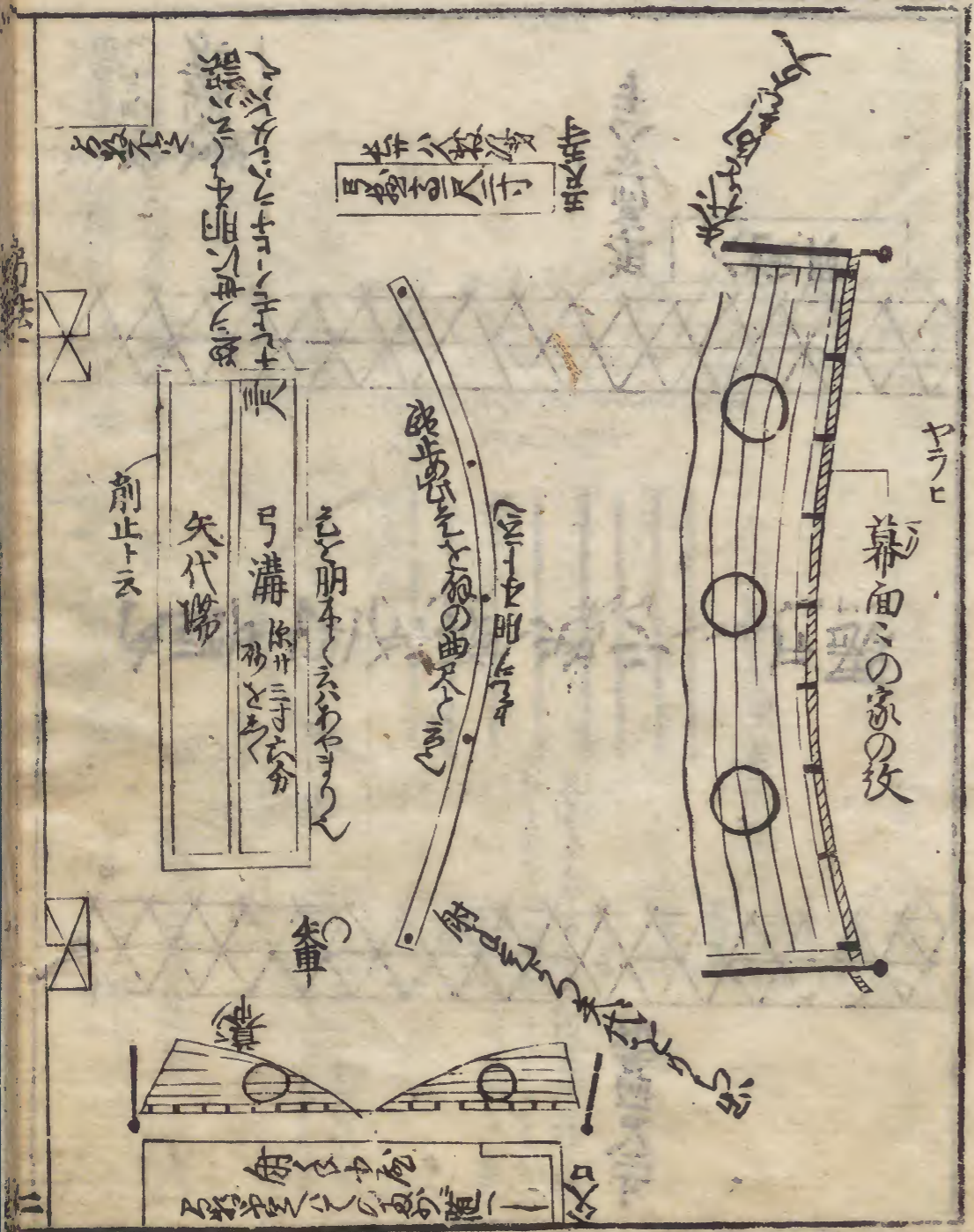




うー弓矢の起原は、ある人から始り、  
 この帝は、けりて、  
 中は、乃帝、  
 わりて、弓矢、  
 して、二義、  
 不れ、  
 気、

的場の馮説  
 附註解

附註解

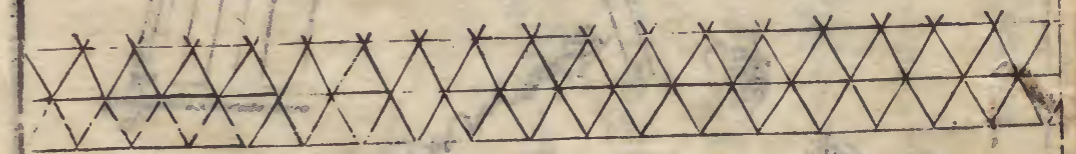
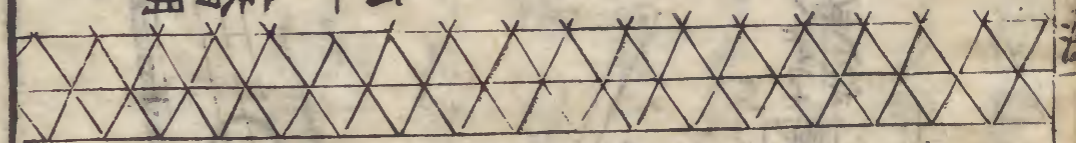




上  
下  
左  
右

手  
高  
尺  
寸

入  
繪  
楯



踏止三小祭際定式十間也

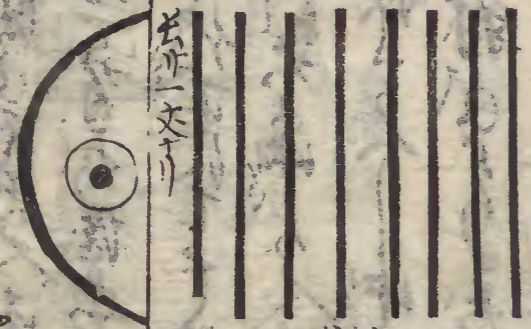
塀  
高  
尺  
寸

上

上  
下  
左  
右  
大  
小  
間  
也

神

板  
敷  
上  
下  
左  
右  
間  
也



如  
心  
上  
下  
左  
右  
間  
也

大  
小  
間  
也

大  
小  
間  
也  
上  
下  
左  
右  
間  
也

西  
ノ  
テ  
大  
小  
間  
也

如  
心  
上  
下  
左  
右  
間  
也

上

三



古の雨場の事を八幡の物をもつたゆゑ

射札の御札

此場よれのく射はる物入小札を言ふは  
むら花の御札を言ふは花の御札を言ふは  
後日と綴して化してて邪妙小札を言ふは  
夏勿御札を言ふは中々人御令失を言ふは  
云々を言ふは御札を言ふは中外務員付御札  
の言ふは御札を言ふは御札を言ふは  
右の御札の御札を言ふは御札を言ふは

年号月日

右の御札の言ふは御札の御札を言ふは御札を言ふは

と多敷の御札を言ふは御札を言ふは御札を言ふは  
射はる御札を言ふは御札を言ふは御札を言ふは

八幡棚之圖 櫛美朱

是は射初射上ケ節

射(見物小屋) 棚面青



説詞



詠詞之法

維 身 享 元 年 歲 次 甲 子 夏 六 月 丙 申 朔  
 掛 麻 久 毛 畏 幾 天 照 大 月 靈 尊 高 皇  
 產 靈 尊 八 幡 大 神 宮 及 八 千 矛 神 武  
 雍 植 命 殊 仁 波 訶 遇 突 知 命 乃 廣 前  
 仁 恐 礼 羨 恐 礼 羨 毛 申 佐 久 供 御 波  
 今 年 乃 初 穗 乃 米 三 寸 波 龜 上 高 知

龜 腹 滿 並 大 野 原 仁 生 物 波 耳 菜 辛  
 菜 大 海 原 仁 住 物 波 鱈 廣 物 鱈 狹 物  
 澳 津 藻 葉 瀛 津 葉 仁 至 麻 天 橫 山 乃  
 如 久 積 足 波 志 天 廣 久 厚 久 諫 碎 竟  
 奉 留 此 狀 於 聞 召 天 名 實 各 引 箭 之  
 冥 助 於 加 江 理 此 家 內 繁 榮 子 孫 奴  
 婢 壽 命 長 遠 仁 安 乃 久 平 亦 久 守 護  
 韋 給 倍 止 恐 礼 羨 恐 礼 羨 毛 申 狼 入



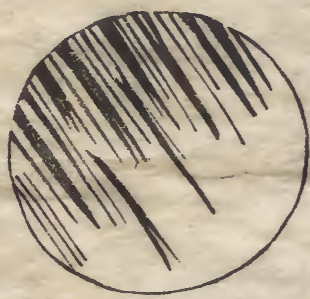








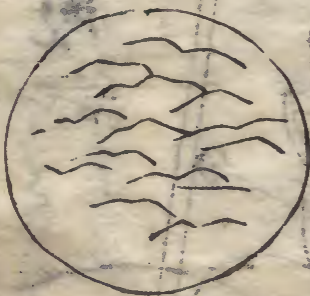
右に持原の月次の的として留め



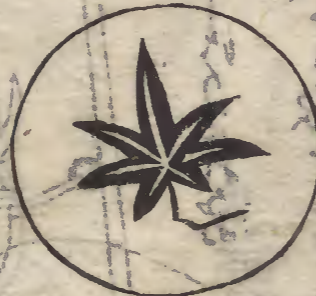
十月時雨



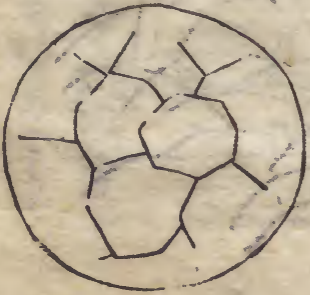
七月荷



十月雲



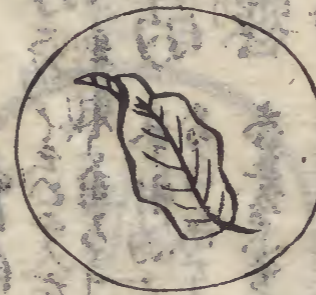
八月紅葉



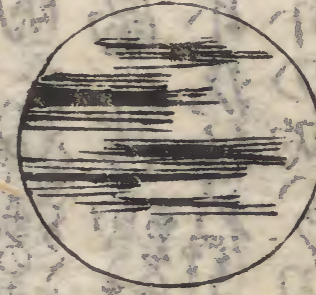
十月氷



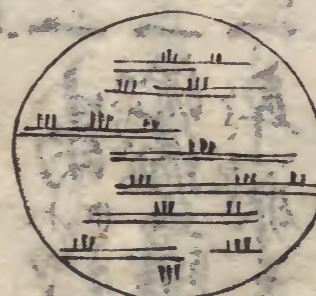
九月菊



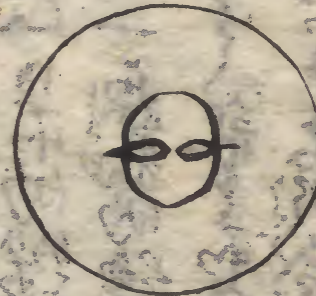
四月草葉



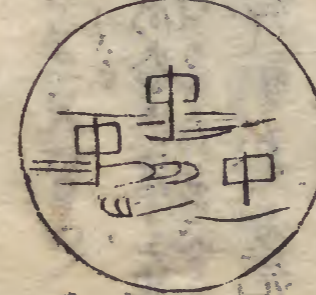
正月霞



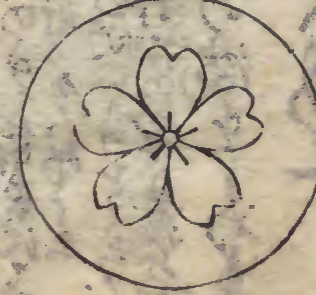
五月早苗



二月雁



六月御枝



三月櫻



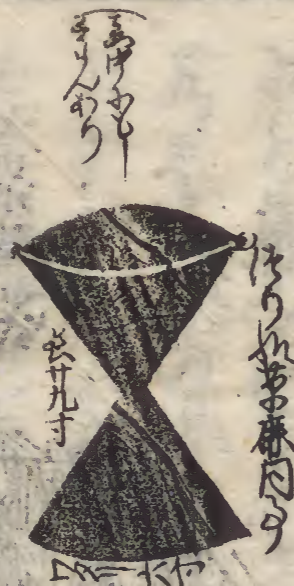
草鹿的之圖

草鹿的圖

草鹿の形本にて竹席の段をさへくちめて大升八脚のこけ  
八寸巾の席をさへくちめくちすのり



三々九的圖



丸物的之圖



丸物的の形本にて竹席の段をさへくちめて大升八脚のこけ  
八寸巾の席をさへくちめくちすのり



金乃的稀やの馬



大槩稀架

金的

金乃的の馬

一令の的射をすは金乃的らよは色のよいと立射場ハ  
松葉の秋葉にしてしるす一む射あとも改されい

よきて射は小屋の前ハ幕を打て射はの教ハ  
小屋をさくら海と一松平射は方ハ幕を遷  
かどをき一向の盾ハどうけは色の也ハ物ハ  
あも幕とかとひとあらざればいよあらざり  
あも一松の葉ハ物ハどうしわれは色ハ用さ  
してハ物ハ一り上げても松葉ハ物ハ物ハ  
色もてハ物ハ一り松葉ハ幕ハにてかどハ  
松葉ハ物ハ物ハ松葉ハ物ハ物ハ物ハ物ハ  
ハ金乃的と射わけとくぞうのたきハ物ハ物ハ  
足物ハ物ハ物ハ今ハ都ハ物ハ物ハ物ハ物ハ  
松葉ハ物ハ物ハ物ハ物ハ物ハ物ハ物ハ物ハ











初ぞりて( )とて初ぞりて( )とて折折きぬ( )の( )と云  
この( )は( )折折の( )に( )代( )と( )せて( )代( )場の( )を  
より( )の( )的( )の( )と( )大( )後( )の( )と( )又( )折( )折( )と( )り  
て( )射( )ぬ( )人( )の( )矢( )代( )の( )大( )後( )より( )的( )の( )と( )と( )あ( )る( )て( )遠( )く  
射( )て( )扱( )言( )ん( )を( )な( )ひ( )の( )体( )は( )ま( )付( )る( )名( )字( )と( )は( )あ( )る( )よ  
ひ( )あ( )り( )の( )も( )う( )の( )あ( )る( )の( )り( )折( )折( )は( )矢( )代( )は( )折( )折( )と( )し( )  
と( )し( )て( )の( )く( )と( )あ( )る( )を( )ま( )し( )扱( )あ( )る( )を( )あ( )げ( )て( )折( )折( )の( )  
矢( )代( )と( )あ( )つ( )て( )組( )矢( )代( )は( )振( )と( )ま( )ら( )り( )折( )折( )は( )射( )と( )  
へ( )て( )折( )射( )と( )し( )下( )矢( )の( )大( )後( )より( )射( )と( )し( )て( )ま( )る( )て  
よ( )り( )て( )し( )て( )下( )矢( )の( )大( )後( )より( )射( )の( )が( )ま( )る( )て( )し( )て( )  
よ( )り( )て( )射( )ら( )ざ( )る( )の( )的( )は( )ま( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )

折( )ら( )る( )て( )し( )て( )射( )ら( )ざ( )る( )の( )的( )は( )ま( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
り( )よ( )り( )四( )つ( )合( )張( )の( )的( )合( )を( )ま( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
射( )ら( )る( )て( )し( )て( )射( )ら( )ざ( )る( )の( )的( )は( )ま( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
か( )ら( )合( )あ( )り( )て( )ゆ( )り( )り( )八( )つ( )張( )之( )但( )ら( )る( )的( )と( )三( )重( )文( )の( )的( )  
と( )大( )早( )七( )的( )と( )七( )曜( )九( )的( )と( )九( )曜( )九( )曜( )の( )く( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
を( )射( )ら( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
を( )射( )ら( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
を( )射( )ら( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )

射( )ら( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
よ( )り( )て( )射( )ら( )ざ( )る( )の( )的( )は( )ま( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
目( )あ( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )  
の( )射( )ら( )る( )と( )と( )あ( )る( )と( )と( )大( )後( )の( )







矢とてあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
扱より扱又盃と取替て香かすしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
三種の者の内からその扱は飲くらざるはあまはめしめし切てらるる  
解のくは香中は盃はあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
一軒けて加すしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
弓とあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
射撃中とあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
さきの不三方はあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
まの用中と扱射中各一扱あまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
先あまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
扱一扱香かすしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる

弓法

七

又二つの扱とあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
さて二方とあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
ぬーまろこよのいりぬ又云はのる扱初扱の射師道  
さし師のそとさしてしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
むらとあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
まみて盃と扱師道飲くらざるはあまはめしめし切てらるる  
まままとあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
あまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
こなまわりとあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
一今の的と射あけてはあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる  
を射あけてはあまはめしめし切てらるるはあまはめしめし切てらるる

弓法

七







